

# ロジカルプレゼンテーション基礎

株式会社日立インフォメーションアカデミー

© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

## はじめに

### 1. 到達目標

- プレゼンテーションの基本概念を理解できる
- プレゼンテーションに不可欠な4種のスキルのポイントを理解できる
- プレゼンテーション準備のプロセスを理解できる

### 2. 対象者

プレゼンテーション能力を高めたい方。例えば、社内での業務・学習成果の報告会を控えている、社内での改善提案・企画のプレゼンテーションを控えている、プレゼンテーションの学習を通じて相手に分かりやすく伝え、素早く納得を得るスキルを磨きたい方。

### 3. 前提知識

「ロジカルシンキング基礎」を修了しているか、または同等の知識があること

© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

# Contents

1. プレゼンテーションの基礎知識
2. デリバリーのポイント
3. 定義分析フェーズのポイント
4. 論理構成のポイント
5. ストーリーを作るポイント
6. 資料作成のポイント
7. そして実務へ

© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

---

## 1 章 プレゼンテーションの基礎知識

---

本章ではプレゼンテーションの基本ポイントを学び、  
本コースの全体像を理解します。

### 本章の構成

- 1.1 プレゼンテーションとは何か？
- 1.2 どのように訓練するのか？

## 1.1 プレゼンテーションとは何か？

### 1.1.1 ビジネスプレゼンテーションとは？

プレゼンテーションとは、コミュニケーション“手段”です。そのため、成功(目的)を定義することが肝要です。そしてその“目的”は、ビジネス上の問題解決であるため、伝え手の望む意思決定・行動を聞き手から引き出すことです。

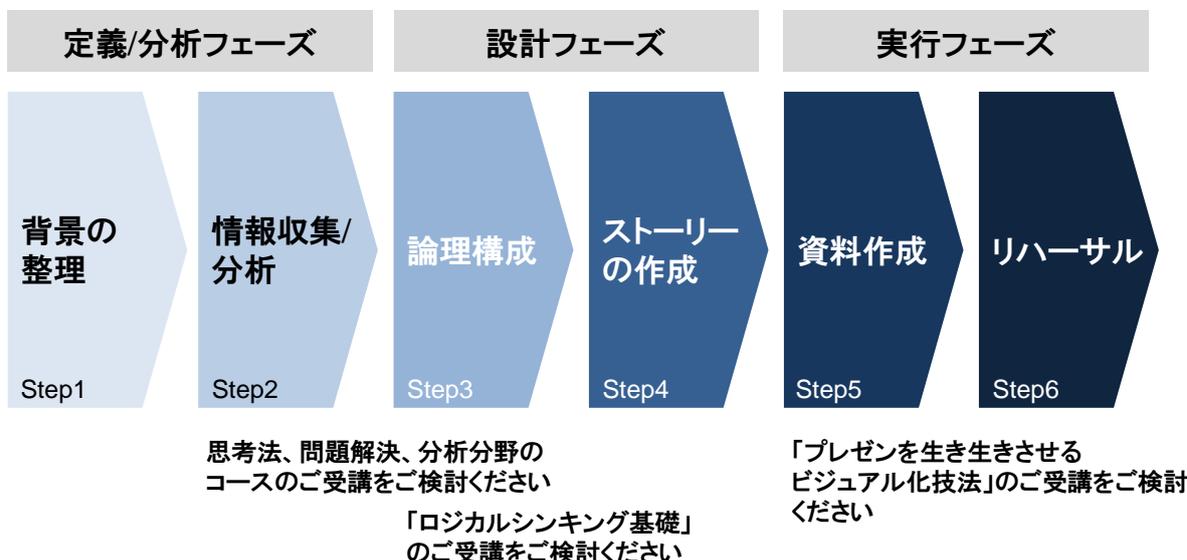


© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

## 1.1 プレゼンテーションとは何か？

### 1.1.2 プレゼンテーション準備のプロセス

プレゼンテーションの成否は、準備段階にかかっていると一言でも過言ではありません。相手に自分の主張を正確に伝え、相手に理解してもらい、相手に何らかの行動を起こしてもらうには、段階的に3つのフェーズを踏む必要があります。



© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

## 1.1 プレゼンテーションとは何か？

### 1.1.3 プレゼンテーション設計/実行に必要な4スキル

プレゼンテーションの設計／実行には、以下の4点のスキルが必要です。これら4点のスキルをバランス良く向上させることが重要です。

<h4>ストラクチャリング</h4> <p>プレゼンテーションのテーマに対する結論・理由を論理的に構成するスキル</p>	<h4>ストーリーデザイン</h4> <p>プレゼンテーション本番の流れ(はじめのあいさつから締めくくりまで)を、戦略的に構成するスキル</p>
<h4>ビジュアライゼーション</h4> <p>プレゼンテーション本番で使用する、わかりやすく視認性の高いスライド・配布資料を作成するスキル</p>	<h4>デリバリー</h4> <p>プレゼンテーションでの立ち居振る舞いや声の出し方、話し方を工夫することで、聞き手に効果的に情報を伝達するスキル</p>

© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

## 1.2 どのように訓練するのか？

### 1.2.1 訓練の3ステップ

原則を理解し、やってみて、原則が適用できているかチェックして、修正する、PDCAサイクルによって学習を深めることができます。

1

#### 原則を知る

プレゼンテーション準備のプロセスとポイントには非常に簡単な原則があります。

2

#### 原則の適用/不適用をチェックする

問題に気づく、分類する能力が必要です。

3

#### 原則に基づき改善する

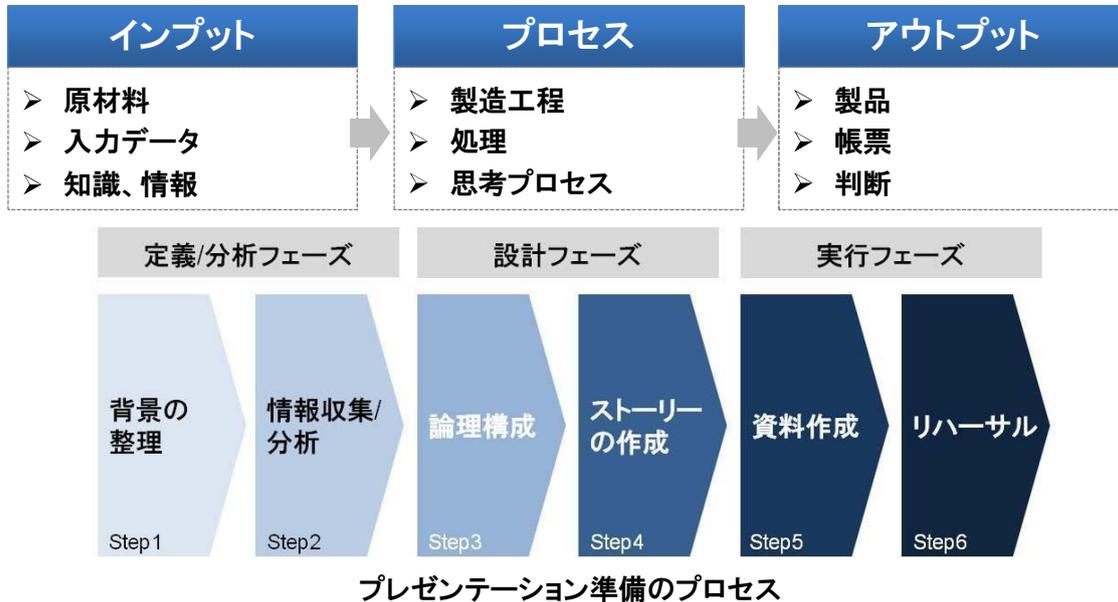
修正する能力が必要です。

© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

## 1.2 どのように訓練するのか？

### 1.2.2 改善の基本

アウトプットの品質向上(バラツキの少なさ)はプロセスの標準化によってなされます。したがって、アウトプットの違いをもたらすプロセスの特定が学習の中心となります。



© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

## 1.2 どのように訓練するのか？

### 1.2.3 プレゼンテーションのシーン

プレゼンテーションには様々な形態があります。ゆえに、本コースでの学習内容は業務での活用の汎用性が高いといえます。さらに、日常の中に鍛錬の機会はいくつもあります。



提案/企画

会議/打合せ/面談

セミナー/展示会

活用シーン例

© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

## 1.2 どのように訓練するのか?

### 1.2.4 現状把握

#### 演習① 自己紹介プレゼンテーション(1分間)

自己紹介のプレゼンテーションを通じて、現在の自分のデリバリーを認識しましょう。



#### 演習の概要

- 名前
- プレゼンテーションに関する業務課題
- 2日間受講後の到達目標
- 趣味

など内容は自由です

© Hitachi Information Academy Co., Ltd. 2016. All rights reserved.

## 2 章 デリバリーのポイント

本章ではプレゼンテーションのデリバリーのポイントを学び、自己紹介プレゼンテーションをチェックします。チェックを通じて、チェックする力の修得と自分のデリバリーの課題を把握します。

#### 本章の構成

- 2.1 デリバリーとは何か?
- 2.2 目に訴えるポイントとは何か?
- 2.3 耳に訴えるポイントとは何か?
- 2.4 その他のテクニク的なポイントとは何か?
- 2.5 2章のまとめ